

お餅つきの楽しい体験ができました！

昨日は途中から穏やかな日となり、朝から集まってきてくれた役員さんやボランティアさん、また搗き手のお父様方のおかげで子どもたちにとってステキな思い出としての「お餅つき」が出来ました。子どもたちはお餅になる「もち米」と普段食べている「お米」の違いや「食べるまでの準備」などの話を聞きながら、プールサイドと太陽の部屋とに用意した場所で、調理室でふかした湯気の立っている「もち米」を臼に入れて、パタンパタンとつくつくとやわらかな「お餅」に変身すること等を不思議がって見る子や大きな掛け声でつき手のお父さんたちを応援する子どもたちです。

つきたての柔らかなお餅が手につきながらも、上手に丸めるのは日頃の粘土遊びや砂場遊びが活かされているからです。

お昼は黄な粉とあんこと辛味(大根おろし)餅をおいしく食べて大満足の日でした。自分でついて、自分で丸めたお餅はお土産です。

昨日持ち帰りましたお餅はほんの少しのお裾分けですが皆さんで味わっていただけた事と思います。(まだ食べられない0歳児は食べられるようになるのを楽しみにしてお土産を持ち帰りました)。また今年4月から「こどものもり」に仲間入りをする新入児も親子で参加し、ついたり、つきたてのお餅を味わっていただきました。

お忙しい中を子どもたちの為にお手伝いくださった役員さん、ボランティアさん、ついたり、こねたりのお父さま、おじい様方本当にありがとうございました。感謝申し上げます。(腰が痛くならないことを願っています)

園では、お餅つきを通して、「もち米を蒸かす臭い」「お餅をつく音」「手で触った柔らかなお餅の感触」「食べたときの味」「丸める指先の力の入れ方」「準備の大切さ」等が感じ取れればと願っています。

大人になった時に、日本で伝統的な行事の一つである「お餅つき」の体験を通して、豊かな心が育つきっかけの一つとなることを願っています。

これから、この体験を生かして

クッキングコーナーではお餅クッキングが始まります！

外は寒くても心に残るお餅つきを体験した子どもたちは、さっそくクッキングコーナーで「ホットプレートで「磯辺焼き」「あべかわ餅」さらには「お雑煮」「お汁粉」等にして、美味しい味とクッキングをみんな楽しんでいきます。お正月あそびがこれから盛んになり、園庭

では「たこあげ」「こままわし」そして「マラソン」も始まります。寒さに負けず遊んだ後の温かい汁物やお餅でホットできるのではと思っています。ご家庭でも、お餅を美味しく味わってみてください。

